

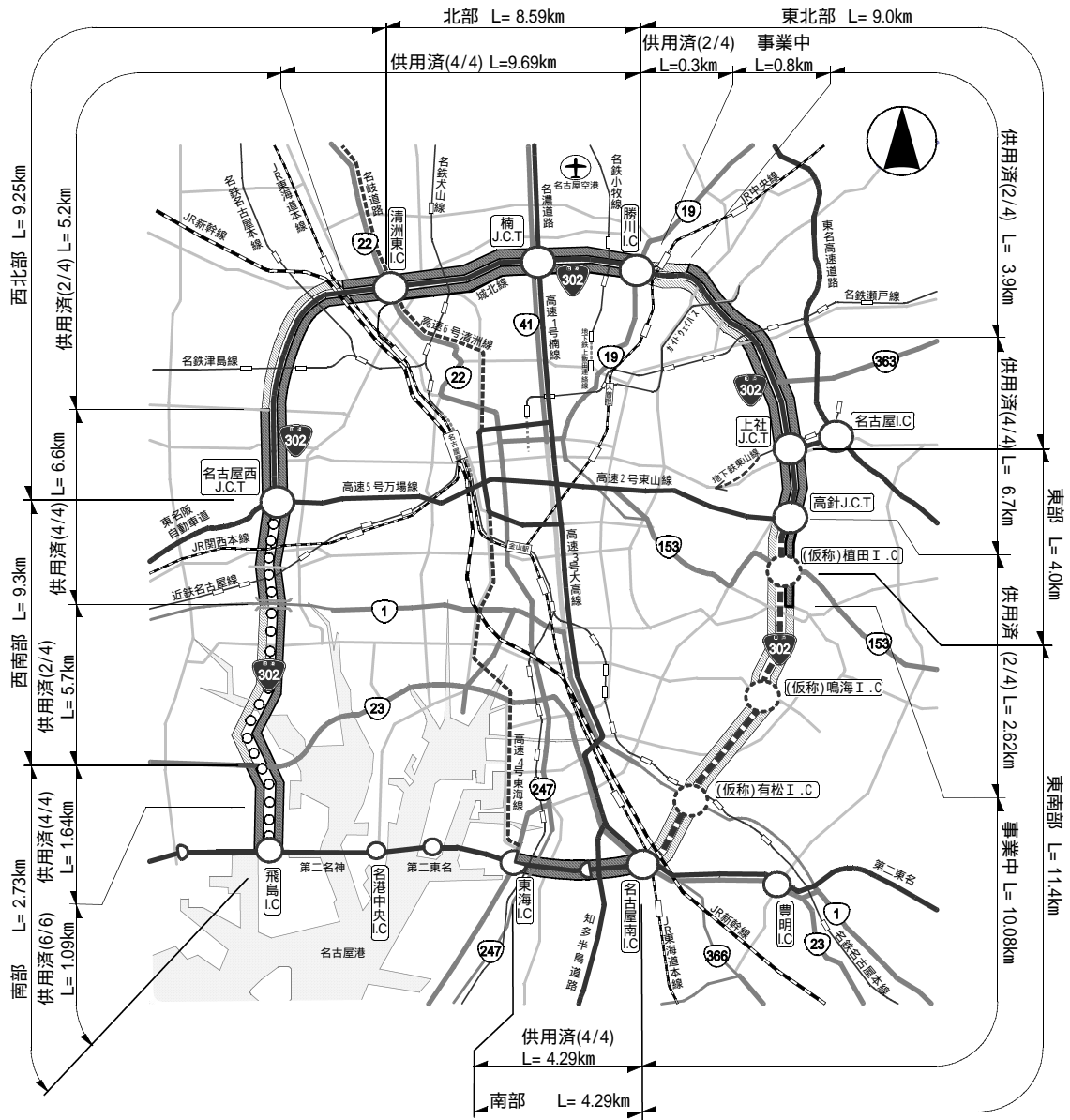
## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：中島 威夫

<b>事業名</b> 一般国道302号名古屋環状2号線	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 国土交通省 中部地方整備局
<b>起終点</b> 自：愛知県名古屋市中川区富田町 至：愛知県名古屋市中川区富田町		<b>延長</b> 58.6km
<b>事業概要</b> 一般国道302号(名古屋環状2号線)は、名古屋市の外周部を通り、名古屋市を中心に放射状に伸びる幹線道路と主要地点で連結し、名古屋都市圏の道路網の骨格をなす環状道路。 大都市圏の環状道路として、都市内交通の混雑緩和を図るとともに、沿道環境改善にも大きな役割を果たす道路である。		
S46年度事業化	S57年度都市計画決定	S46年度用地着手
<b>全体事業費</b>	約5,300億円	<b>事業進捗率</b> 78% <b>供用済延長</b> 47.7km
<b>計画交通量</b>	24,400～39,200台/日(東部・東南部区間)	
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B/C</b> (事業全体)1.6 (H29供用と仮定して算出) (残事業)4.1 (H29供用と仮定して算出)	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 960/2,400億円 (事業費：922/2,386億円) (維持管理費：36/36億円)
	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 3,900/3,900億円 (走行時間短縮便益：3,514/3,514億円) (走行費用減少便益：206/206億円) (交通事故減少便益：185/185億円)	<b>基準年</b> 平成15年
<b>事業の効果等</b> 円滑なモビリティの確保( )通過交通の削減による、渋滞解消・沿道環境の改善が見込まれる) 都市の再生(都市再生プロジェクトを支援) 他19項目該当		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 早期整備に関する請願が愛知県議会及び名古屋市議会都市消防委員会で採択されている。 名古屋環状2号線早期整備促進会議を中心に早期整備に関し、地域から強い要望。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 現在、重点的に事業を実施している東南部区間は市街化が著しく沿線周辺の人口も高い伸びを示しており、並行する(主)名古屋環状2号線における混雑度も1.27～2.23と高い。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 全体延長58.6kmのうち47.7kmが供用中。(事業費ベース進捗状況：約78%、用地買収率約100%(本線供用に要しない残地有り))		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 一般国道302号(名古屋環状2号線)は、平成20年代の完成を目標としている。ただし、高速道路や鉄道立体など他事業の動向に応じ、適宜見直しを行う。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 擁壁工法の選定について、大型ブロック(T型)の活用による工期の短縮、約1～2割のコスト縮減。 橋梁設計時における、連続化や橋脚形状簡素化等で約10億円のコスト縮減。		
<b>対応方針</b>	事業継続	
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		

事業概要図



凡例	
——	供用中
----	事業中
▨	再評価箇所
■	うち供用中
○	調査中

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。事業全体の費用便益は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。